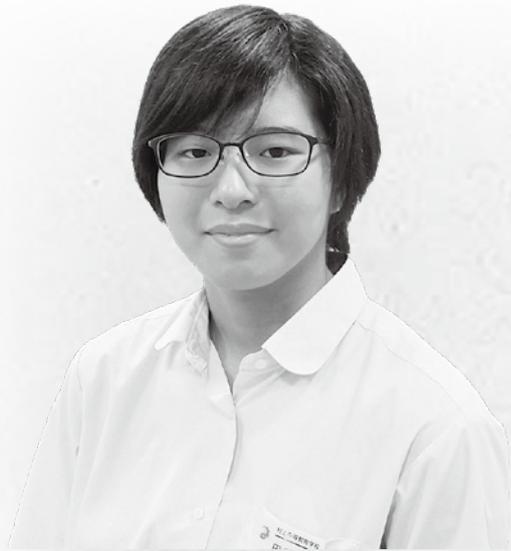


8月19日(木)、日常生活で感じたことや考えについて自分の主張を発表する「令和3年度新潟県少年の主張大会ーわたしの主張ー村上・岩船地区大会」が教育情報センターで開催され、郡市内各中学校の代表生徒が自分の主張を堂々と発表しました。

審査員長を務めた松田洋平さん(村上市岩船郡校長会副会長)は、「中学生らしい新鮮な感覚で身の周りや世の中を見つめ、自分自身や学校、社会全体の問題解決に向けて、前向きに未来を切り開こうとする強い姿勢と決意があり、私たち大人も大いに学ぶべきものがあると感じました。」と講評しました。

最優秀賞に選ばれた田島彩江さんは、新型コロナウイルスウィルス感染症対策のため、映像審査で開催された新潟県大会に、村上・岩船地区の代表として出場しました。

なお、全員の主張作文は、新潟県ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



**最優秀賞 「気持ちの在り方」**

村上中等教育学校3年  
田島 彩江さん

中学生が自分の思いを作文で主張

# 令和3年度 新潟県少年の主張大会 村上・岩船地区大会

問い合わせ 村上地域振興局健康福祉部企画調整課 ☎ 53 - 8361



**奨励賞** 生きていれば  
荒川中学校3年  
新野 芽生さん



**奨励賞** 当たり前  
朝日中学校1年  
横井 沙彩さん



**優秀賞** 自分が今、出来る事  
村上第一中学校3年  
松本 奈々さん



**優秀賞** 声なきメッセージ  
神林中学校3年  
佐藤 愛結奈さん

※このほかに市外(岩船郡)の代表で近環子さん(関川中学校3年)、本保日菜佳さん(粟島浦中学校3年)が奨励賞を受賞しました



**奨励賞** 「ゆめ」の意味  
岩船中学校3年  
工藤 陽さん



**奨励賞** あいさつ  
山北中学校1年  
木村 奈々さん



**奨励賞** 三万八千四百四十四の命  
村上東中学校3年  
山川 水穂さん



受賞者の原稿はこちらから

## 最優秀賞

# 気持ちの在り方

「勝ちたくないのか。」この言葉を聞くと、私の頭には疑問が浮かんでいった。「なぜ勝ちたいのだろう。」「勝つことは大事なのか。」理解できない自分がいた。

私はバスケットボール部に所属している。練習はきつかったけれど、自分の技術が上達していくのがとてもうれしかった。顧問の先生はとても指導熱心で、私達に新しい技術やバスケットボールに関する有名な話をたくさん教えてくれた。毎日、放課後が待ち遠しい。ただ、一つだけ私が理解できないことがあった。それは顧問の先生が練習のとき、何度も「勝ちたくないのか。」と私達に問いかけてくることだった。この問いに、私は決まっただけで十分楽しいのに、「楽しいことより勝つことが大事なのか。」と感じていた。私は勝ちたいと思うことを優先してはなかったのだ。先生がこの話をすると、いつもみんなは熱心に話を聞いていた。しかし、楽しむことにこだわっていた私は、先生の話を理解していなかった。自分がおかしいのか、



他の人との温度差も感じていた。

楽しいという気持ちのみでバスケットボールを続けていた私は、ある時から何を目標にして、何がしたくてバスケットボールをするのかを考えることにした。しかしどんなに考えてもバスケットボールは私にとって楽しいことで、勝つか負けるかは二の次であり、その日の調子や練習量や質の差などによる単なる結果だと思えなかった。私が自分なりの答えを見つけることができたのは公式戦最後の地区大会だった。負ければ終わり。当然みんな

た。私は勝ちたかったのだ。

勝てばみんなと一緒にこの楽しい時間をもっと過ごすことができる。勝てばみんなと達成感や喜びを分かち合うことができる。私の中に「もし勝てれば。」という思いがあふれた。ああ、勝ちたい。勝ちたかった。先生が言っていたことをこの時ようやく理解した。この経験から私は、大会だけでなく、日々の試合形式の練習でも勝ちたいと思うようになった。そして、練習や試合に対する自分の気持ちの在り方を意識することが大切だと気付くことができた。

これは何も勝負ごとの話ではない。物事に、どんな気持ちをもつて取り組むのか、どんな目標をもって取り組むのか。それを意識すればどんな事にも真剣に考え、行動に移すことができるようになるのだ。

あるとき、教頭先生がアメリカの心理学者であるウィリアム・ジェームズの言葉を私に紹介してくれた。

「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」自分が気付いたこととても似てい

るこの言葉に深い共感を覚えた。このことを私は身をもって感じることもできたのだ。

それから私は自分の夢についても同じ様に考えるようになった。私は中学校の教師になりたいという夢をもっている。その達成には、努力が必要だと分かってはいるが、日々の授業や課題に追われて目の前のことで精一杯になることがある。そんなとき、私は「絶対に教師になるのだ。」と弱気になった自分を奮い立たせている。

もし今、物事をただ何となく取り組んだり、中途半端にこなしていたり、やらされているからと思いつながら行動している人がいたら一度立ち止まって考えてほしい。今自分は何をしたいのか、何のために今それをやっているのか。そう考えることで目的や目標を持ち、私が気付いたようにより前向きな気持ちを持つことができるだろう。

今、世の中は新型コロナウイルス感染症で生活様式が大きく変わってしまっている。私達学生にとって、大切な学校行事が制限される日々である。その中でも目的、目標をもって行動することで、きっと充実した学校生活を送ることができるようになるだろう。

私はこれからも、常に「なぜそうしたいのか」を考えながら行動を起し、自分の夢の達成に向けて前進していくつもりである。